

# 2020年 ふるさと高原山を愛する集い 実行委員会 実施報告書



ふるさと高原山を愛する集い実行委員会

## ふるさと高原山を愛する集い ～ふるさとを思い、高原山麓での保全活動をみんなで考えよう～

ふるさと高原山を愛する集い実行委員会 市川 貴大

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、毎年実施している「ふるさと高原山を愛する集い」を中止としました。ただし、野外でのハイキングや環境保全活動については、参集範囲を県内中心としたり、参加人数を絞り込んだり、3密（密閉、密集、密接）を防ぐなどの対応により実施しました。なにしろ新型コロナウイルス感染症の感染状況については全く予想が付きませんでしたので、例年とは全く異なり、気をつかいながらの企画、立案、実施となりました。今年のふるさと高原山を愛する集い実行委員会の活動について報告いたします。

### 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言

2月頃から、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により大規模イベント等が自粛になるなど、感染者数が増えるばかりでした。そして、4月7日、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が国から発出されました。栃木県も4月16日から5月6日まで対象となり、5月4日に5月31日までの期間延長となったものの、5月14日に区域変更され栃木県では緊急事態宣言が解除となりました。また、5月7日に栃木県では「5月11～5月31日は最大参加人数が50人程度の比較的少人数のイベントは3つの密が発生しないこと等感染リスクへの対応を実施することを条件に開催を可能とする」ということになりました。毎年5月の第3土曜日に実施している「高原山山開き」は実行委員会の打合せもできないため中止としていましたが、実行委員の高原山山開き中心メンバーから「身内だけでも開催しよう！」という想いのこもったメッセージをいただき、5月24日（日）に実施することにしました。

### 高原山山開き

こんなに静かな高原山山開きはこれまでにありませんでした。青木修司副会長、倭文廣隊長、井澤晴雄委員、市川の高原山コアメンバーを中心に、実施しました。釈迦ヶ岳山頂は例年よりかなり登山客は少なかったですが、まったくいないわけではありませんでした。

これまで一般参加者を募って開催してきましたが、実に楽しい行事だったのだなあとしみじみ噛みしめました。また、緊急事態宣言などにより不要不急の外出を自粛していましたので、体力の低下も感じ、日ごろの運動の重要性を再確認しました。（第1波が収まったところに開催）



## 今年のふるさと高原山を愛する集いの検討

新型コロナウイルスの感染状況の予測は難しく、ふるさと高原山を愛する集い実行委員会の打合せを開催する時期についてもなかなか決められずにいましたが、比較的夏場は小康状態になりそうでしたので、7月25日に今年度初めての打合せをソーシャルディスタンスや換気などの感染症対策を講じて無理なく実施しました。

ふるさと高原山を愛する集いは中止とし、今年の活動は、①続・高原山の四季～写真データ&コメント募集、②イヌブナ自然林現地検討会、③高原山登山道のササ刈りを実施することとしました。



## 続・高原山の四季 写真データ&コメント募集

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、高原山麓の四季の写真データとコメントを2020年8月10日(山の日)から2021年8月8日(山の日)まで募集する企画を実施することにしました。まだ応募がありませんが、塩谷町役場をはじめ、矢板市、那須塩原市、日光市の広報誌に募集情報を掲載していただきました。1年間の企画なので、ぜひ多くの方々にチャレンジしてほしいと思います。

### 「続・高原山の四季」 写真データ&コメントの募集

国民の日「山の日」の誕生にあわせて、「高原山の四季」の写真を募集して5年が経過しました。そこで、「続・高原山の四季」と題して、写真データ&コメント等を募集します。写真については展示会や雑誌「しもつ村の心」への掲載等を行います。

募集期間：2020年8月10日(山の日)～2021年8月8日(山の日)

募集条件：○高原山麓(矢板市・那須塩原市・日光市・塩谷町)の四季を撮影していること

○申込内容：1～5枚すべて提出されること

○あると高原山を愛する集い実行委員会が作成する電子版やホームページ、イベント等に使用すること

申込内容：1 写真の電子データ(1MB以上)

2 写真テーマ(タイトル)

3 撮影者名

4 撮影場所(例：塩谷町上寺島 高仁院)

5 コメント(100文字程度)

注意事項：○提出データ数に制限はありません

○金銭の発生はございません

○電子データが送付できません(あると高原山を愛する集い実行委員会へ郵送し、必ず)

○申込内容：1～5を下記事務局まで郵送またはメール送付願います

○郵送雑誌「しもつ村の心」に掲載していただきます

○募集終了後、写真版を郵送予定です



しもつ村の高原山麓

申込先  
ふるさと高原山を愛する集い実行委員会事務局(市川)  
〒329-2761 矢板市市川1-12-74  
TEL: 070-5468-1114(平日・土日祝日)  
E-mail: info@doctoryachi.on.ne.jp

主催：ふるさと高原山を愛する集い実行委員会 共催：塩谷町  
後援(予定)：一般財団法人全国山の日協議会・那須塩原市・日光市

表 ふるさと高原山を愛する集い実行委員会による活動実績

| 年月日         | 参加人数 | 場所              | 内容                                       |
|-------------|------|-----------------|--|
| 2020年2月16日  | 27名  | 星ふる学校<br>「くまの木」 | ・里山学講義を共催<br>※くまの木里山応援団が主催               |
| 2020年5月24日  | 9名   | 高原山             | ・高原山山開き<br>※コアメンバーのみ                     |
| 2020年7月25日  | 8名   | 上寺島<br>活性化施設    | ・今年の活動について                               |
| 2020年8月10日  | -    | -               | ・続高原山の四季 写真データ&コメント募集開始<br>※2021年8月8日まで  |
| 2020年8月29日  | 12名  | 上寺島<br>活性化施設    | ・ハイキング、ササ刈り等の打合せ                         |
| 2020年9月20日  | 14名  | イヌブナ自然林<br>風だより | ・守子神社登山口～イヌブナ自然林までのササ刈り<br>※くまの木里山応援団が主催 |
| 2020年9月26日  | 7名   | ロペ倶楽部<br>風だより   | ・全国山の日協議会梶理事長、手塚事務局長と意見<br>交換            |
| 2020年9月27日  | 34名  | イヌブナ自然林<br>風だより | ・イヌブナ自然林現地講演会<br>・谷本先生講演                 |
| 2020年10月26日 | 1名   | 高原山             | ・登山道の状況チェック                              |
| 2020年11月15日 | 21名  | 高原山<br>ロペ倶楽部    | ・高原山登山道のササ刈り<br>・県農村振興課の動画撮影協力           |

## イヌブナ自然林ハイキングの下刈り

今年はいくまの木里山応援団の団員から、「高原山での作業もしたい」という要望がありましたので、見形和久会長とくまの木里山応援団により9月20日（日）に実施しました。

作業開始！ということで刈払いをスタートしたら、刈払いが行われていた箇所が結構多く、例年よりスピーディーに作業が終了。作業後は、バリアフリー鉄道農園「風だより」のご協力によりみんなで休憩させていただきました。



## 全国山の日協議会 梶理事長、手塚理事長と意見交換

全国山の日協議会の梶理事長と手塚事務局長が9月26日（土）に来県され、くまの木里山応援団の活動フィールドの見学とふるさと高原山を愛する集い実行委員会との意見交換をバリアフリー鉄道農園「風だより」にて実施しました。

ロペ倶楽部の里山ではちょうどくまの木里山応援団の団員が作業中で、作業状況も視察できたので良かったと思います。

バリアフリー鉄道農園「風だより」では、ふるさと高原山を愛する集い実行委員会の活動状況を概説した後、「山の日」関連の意見交換を実施しました。新型コロナウイルスによる感染症の動向を見極めつつ、平常時に戻った際にはふるさと高原山を愛する集いに全国山の日協議会もさらに連携を強化することなどを想定していくこととしました。



## イヌブナ自然林現地講演会

尚仁沢湧水の上流部に位置する国の天然記念物である「イヌブナ自然林」を観察するために、9月27日（日）、バリアフリー鉄道農園「風だより」集合にて、ハイキング&現地講演会を開催しました。今回は参集範囲を大幅に縮小して、塩谷町内や関係団体等に限定して情報発信しました。34名が参加してくださり、現地にて宇都宮大学大学院の柴野達彦さんによるブナ・イヌブナなどといった樹木の説明、東京農業大学の上原巖教授による森林の癒しの機能をわかりやすくお話いただきました。



ハイキング後半は小雨も降り始めたため、バリアフリー鉄道農園「風だより」にて宇都宮大学の谷本丈夫名誉教授にイヌブナ自然林を中心に、地域ごとの環境に適応した森林育成について概説いただきました。谷本先生は大病を克服されてご参加いただき、先生のお元気な姿に我々も元気をいただくことができました。また、休業中にもかかわらず早くご協力いただいたバリアフリー鉄道農園「風だより」の水野雅章委員に感謝いたします。(第2波が収まったところに開催)



### 高原山登山道の状況チェック

11月15日(日)の高原山登山道のササ刈りを実施するために事前に登山道の状況チェックを10月26日(月)に行いました。久しぶりに守子神社登山口から前山～釈迦ヶ岳～中岳～西平岳経由で守子神社登山口まで、途中ササを軽く刈払いながら歩いたので、登山口についたころには暗くなってしまいました。釈迦ヶ岳付近のササはきれいに刈払われていました。また、昨年実施した西平岳付近はそれほどササが伸びていませんでした。一方、久しぶりに林道終点から守子神社上までのコースを歩いたところ、途中で登山道がわからなくなってしまうほど、不明瞭でした。このため、11月15日(日)はこの部分を整備することにしました。



### 高原山登山道のマーキングとササ刈り

8月29日(土)の打合せにて、青木修司副会長、倭文廣隊長から、今後の高原山登山道のササ刈りについて、年齢的にずっとは続けられなくなってくるというご指摘がありました。そこで塩谷町広報誌限定にて、高原山登山道のササ刈りを11月15日に刈払機持参で集合と新規参加者を募ってみました。一人も応募がありませんでした。来年度からはササ刈りの手法を柔軟にして再公募したいと思います。また、青木修司副会長、倭文廣隊長からはササ刈り以外の登山道の維持管理のご



提案もずっといただいているところです。この件についても今後検討していきたいと思います。

11月15日（日）は青木修司副会長、倭文廣隊長、井澤晴雄委員の精鋭とくまの木里山応援団有志により、守子神社上から林道終点までの登山道のマーキングとササ刈りを実施しました。青木修司さんと倭文廣さんのマーキング大変助かりました。登山道には足跡も不鮮明となっていました。くまの木里山応援団員もサクサク作業されていました。



この日は栃木県農村振興課の殿塚さんが下野新聞動画撮影スタッフとともに参加され、高原山登山道を満喫していただきました。今回はくまの木里山応援団の活動取材ということで、ふるさと高原山を愛する集い実行委員会とのコラボレーション企画を取材いただきました。動画は後日、「とちぎ農村 QUEST」として youtube にて配信される予定です ([https://www.youtube.com/channel/UCs0WJmzp2g\\_XVRGMukU15dw](https://www.youtube.com/channel/UCs0WJmzp2g_XVRGMukU15dw))。

### とちぎのいいものまるごと産直市

宮まちづくりネットワーク主催の「とちぎのいいものまるごと産直市」が11月28～30日にJR大宮駅西ロイベントスペースにて開催されました。水野雅章委員を中心としたバリアフリー鉄道農園「風だより」、クローバーハーツ農園、菊地農園が初出店しました。今回から、「とちぎのいいものまるごと産直市」の総売上の一部を当会に寄附していただくことになりました。誠にありがとうございます。



厚生労働省では新型コロナウイルス感染症に関する状況をホームページにて公表しています (<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html>)。いまだから昨年の新型コロナウイルスの感染状況を振り返ることができますが、当時は第1波、第2波、第3波がどのようになるのか毎日の動向をこまめにチェックしながらの企画となりました。また、新型コロナウイルス感染症対策なども新たに加わり、正直イベントの企画、立案、実施は困難が増しました。しかし、普段から人のあまりいない野外を中心としたイベントについては実施する価値があることを信じ、実行委員の協力の下、規模を縮小して開催し、無事に終了することができました。2021年はどのような動向になるのかはわかりませんが、感染リスクを下げた取組みについて検討していきたいと思います。

(備考)

・ふるさと高原山を愛する集い実行委員参加者

見形和久会長、青木修司副会長、谷畑方夫顧問、水野雅章、和気仲男、宇賀神一雄、手塚一信、倭文廣、井澤晴雄、斎藤民枝、中山信子、古田義也、杉本宏之、市川貴大（事務局長）

（この報告については雑誌しもつけの心にて連載予定です）